

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	53.2%	自校A B層の割合	54.6%
令和5年度の成果	自校A B層の割合	48.2%	自校A B層の割合	57.8%

目標達成に向けた取組

3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆教師の講話は最小限、生徒の「学び合い」を重視した授業への転換 ◆全教育活動で読書科との関連性を持たせた探求的な活動の充実 ◆教員間での授業交流を通じた自主研究授業の実践 《CD層およびB層へのアプローチ》 ◇ラウンドシステム導入した外国語学習 ◇教科アドバイザーの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◆デジタルドリルの有効活用 ◆「学力向上アクションプラン」の策定 《CD層およびB層へのアプローチ》 ◇放課後補習教室の戦略的活動 ◇「学力向上」大作戦委員会の設置 ※たちばなマインド推進委員会内に設置 	<ul style="list-style-type: none"> ◆一人1台学習用端末、デジタルドリルの日常的な活用 ◆えどダブルルール等の周知・徹底 《CD層およびB層へのアプローチ》 ◇「たちばなマインド」と「補習・家庭学習との関連を強化 ◇「ミライシード」の積極的な活用
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<p>【支援ツール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆授業支援ソフト ☆夏季休業中の研究 ☆読書科研修（初級・中級・上級） ☆教科アドバイザー 	<p>【支援ツール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆放課後補習担当スタッフ（数・英） ☆一人1台学習端末のデジタルドリル ☆外国語・英語の力を高める取組 ☆えどダブルルール、学校ルール等 	<p>【支援ツール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆「江戸川っ子study week!」の取組 ☆デジタルドリル/東京ベーシックドリル/MEXCBTの活用 ☆家庭学習推進のための取組 ☆えどダブルルール、家庭ルール等
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> □「自分の考えを出し合い、比べ合い、まとめるプロセスを通して、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行ってききましたか」の肯定的な回答の割合を80%以上 □英語教育実施状況調査「授業者が概ね英語で行っている（75%以上の時間）」の割合100% 発話中心の英語・外国を活動100% 	<ul style="list-style-type: none"> □全国学力調査用紙「授業の内容はよくわかりますか」の肯定的回答の割合が85%以上 □CD層（国・数）が50%以下 	<ul style="list-style-type: none"> □全国学力調査用紙「ゲーム、SNS、動画視聴に関する時間」が2時間より少ない生徒の割合が55%以上 □学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の回答割合が80%以上